

一般質問

水産業を取り巻く

環境の現状は？

(自民クラブ)

問 燧灘は、かつて瀬戸内海有数の好漁場であり、魚介類の宝庫であったが、現在水揚げは激減している。水産資源は石油のような鉱物資源とは異なり、適切な管理を行えば、永続的に再生産が可能であるが、水産業を取り巻く環境の現状と今後の水産振興施策について問う。

答 本市は、穏やかで魚種豊富で、富な燧灘に面し、小型底

漁業と、のり養殖を主体に営まれており、これまでも多くの水産物を供給してきた。しかし、昨今、資源量の減少、原油の高騰、経営組織の財政基盤の脆弱、漁価の低迷による所得の伸び悩みなどにより、水産業を支える経営体や漁業従事者数の減少に歯止めがかからない状況にある。今後の振興施策については、従来の施策に併せ、旧愛媛県水産試験場をアサリなどの貝類試



新たな拠点となる旧愛媛県水産試験場

験養殖やのりの試験養殖、アマモの育苗など水産業振興のための研究施設として位置づけ、活用を図るほか、株式会社西条産業情報支援センターが今年度から取り組むクールアースプロジェクトとして、冷水を活用した「さつきます」の陸上養殖試験に取り組み予定であり、その実用化に向け、積極的に協力したいと考えている。

また、足腰の強い水産業を確立するためにも、県をはじめ関係機関と連携し、経営組織の体質改善、財政基盤強化に向けて収益性の高い漁業への転換や、経営の多角化などを進めて参りたい。

どう取り組む！

乳がん検診の受診率向上

(自民クラブ)

問 乳がんは、日本の女性に最も多いがんであり、近年、20歳から30歳代でも増加傾向にある。早期発見・早期治療をすれば治る率も高く定期的な検診が重要である。

西条市では、関係機関において検診を呼びかけてはいるものの受診率が24・4パーセントと決して高いとはいえず、受診率を向上させるために積極的な啓発が必要だと考えるが、どのような取り組みを行っているのか。

答 乳がん検診受診率向上への取り組みについては、検診料の無料化や総合検診方式により土・日曜日も検診を実施することにより、受診しやすい体制づくりを行っている。

また、健康づくり推進委員、J A女性部による受診勧奨を実施するとともに、健診時や学習会での健康教育の実施、広報誌などによる広報活動に積極的に取り組んでいる。今後は、これらの取り組みを

継続して実施するとともに、女性特有のがん検診推進事業による事業対象者への個別通知の実施や、「愛媛県がん対策推進委員設置事業」を活用して啓発活動・受診勧奨を行いたい。

どう取り組む！

子どもの体力づくり

(自民クラブ)

問 最近の子どもの運動能力は、少子化の進展に伴い運動部が減少していることや、運動する子としない子の二極化などにより著しく低下していると言われている。

子どもたちの体力づくりは、体育の授業を除けば、小学生はスポーツ少年団、中学生は運動部における活動が中心となっている。成長期にある子どもたちの体力向上について、今後、どう取り組むのか。小・中学校における運動部参加の呼びかけの現状はどうなっているのか。

答 子どもの体力づくりは、「元気アップ！西条っ子体力づくり推進計画」に基づいて小学校では、※SAQトレーニング



元気に活動！ スポーツ少年団

ングを中心に、児童の体力、運動能力の向上に取り組むこととしている。また、地域指導者によるスポーツ少年団の活動については、23種目に2,275名が、水泳及び陸上記録会に約2千名の児童がそれぞれ参加している。中学校における運動部の活動状況は、男子91・5パーセント、女子67パーセントで、特に女子の場合、合唱や吹奏楽などの文化部に入部しているため加入率が低くなっている。近年、少子化に伴う生徒数の減少により部活動の存続が難しくなっていることから、今後、部員不足に対応して、地域指導者の導入や近隣校との合同活動も視野に入れるなど、より良い部活動の環境づくりや体制づくりについて検討していきたい。

※SAQトレーニング：S(スピード)・A(敏捷性)・Q(すばやさ)をシステム化した基礎トレーニング